

次年度の教育活動の充実に向けて

～第4回学校運営協議会報告～

今年度第4回目となる学校運営協議会を1月23日(木)に開催しました。今回は、船引南小・中学校の教育活動に関するアンケート(児童・生徒、教職員、保護者対象)の集計結果に基づいて、次年度のさらなる学校教育・家庭教育の充実の方策を探り、「提言」をまとめました。

未来を担う子どもたちの可能性を引き出し、最大限伸ばすためには、大人の適切なサポートが欠かせません。「提言」が今後の教育活動(学校教育・家庭教育)のさらなる充実のために活用されるよう委員一同心より願っております。

課題1 質の高い家庭学習



学校では 発達段階に応じた家庭学習の仕方について全教職員の共通理解に基づいた指導、とりわけ、自主学習について小・中学校で一貫性を持たせた指導を進めましょう。



家庭では お子さんの家庭学習に目を通し、取り組みの良さをほめたり、努力点を助言したりする機会を多く持つように努めましょう。

課題2 気持ちを届けるあいさつ



学校では 様々なあいさつにはそれぞれどんな意味があるのか理解させ、心を込めたあいさつが習慣化するように日常的に指導していきましょう。



家庭では 家族みんなで子どものお手本になるあいさつをしましょう。

課題3 身体を思い切り動かす外遊び・部活動への参加



学校では 休み時間の外遊び、運動部活動の楽しさを十分に味わわせる経験を積みせ、積極的な参加を促しましょう。



家庭では 休日は短時間でも親子で運動したり、散歩したりする機会を持ちましょう。

＝地域で育つ子どもたち＝

1月26日(日)に「七郷やってみっ会」主催の『第8回たこフェス in 七郷』が開催されました。

当日は大変寒い日でしたが、適度に風が吹いたため、参加した船引南小学校の児童22名は、家族の皆さんとともに元気に凧揚げを楽しみました。さらに、凧揚げの後はおいしい豚汁や焼き芋などのお楽しみもあり、子供たちにとって思い出に残る一日となったようです。

近年、子供たちが参加する地域の行事が減少傾向にありますが、このような企画をしていただき本当にありがとうございました。地域の自然、地域の方々と触れ合う機会は、子供たちの「心の栄養」となります。



「七郷やってみっ会」とは：

七郷地区在住あるいは、七郷地区出身の田村市役所職員の皆様によって組織されている会。

年2回、子供たちに貴重な体験の場を提供して下さっています。

今年度は今回の凧揚げ大会のほか、夏休み中に航空自衛隊大滝根駐屯地などの見学を実施していただきました。



読書ボランティアの皆様の活躍



学校運営協議会では、読書に親しむ児童・生徒を育てるために、読書活動に携わっていただくボランティアを募集しておりましたが、この度、学区内から4名の方々のご協力をいただける運びとなりました。

1週間に3日小学校においていただき、子供たちへの読み聞かせや読書環境整備をしていただいております。

子供たちの読書意欲をかき立てる第一歩は、「大人による読み聞かせ」です。大人とともに多くの良書に親しみ、やがて自力で興味ある本を探して読み浸る子供に育ててほしいと願っています。

ボランティアの皆様、どうぞよろしくお願いいたします。



編集・発行：船引南地区学校運営協議会

◎遠藤さとみ、○三浦友貴、横田正浩、吉田治、田村丈、桑原恵美子、栗原義昌、佐藤朝美
佐藤洋子、根本君江、鈴木敏夫(南小校長)、浦山裕子(南中校長)

(◎会長 ○副会長)